

収 支 報 告 書

令和 年 月 日 7 年分
（令和 年 月 日開催分）

（ふりがな）
1. 政治団体の名称 立憲民主党和歌山県第2区総支部

2. 主たる事務所の所在地 和歌山市九番町10 九番丁ビル5階

3. 代表者の氏名 新古 祐子

4. 会計責任者の氏名 新古 祐子

事務担当者の氏名
田中・安藤
(電話) 090-581-0038 (田中)



政治団体の区分	
☐ 政 党	☐ 政治資金規正法第18条の2
☒ 政 党 の 支 部	第1項の規定による政治団体
☐ 政 治 資 金 団 体	☐ その他の政治団体
	☐ その他の政治団体の支部

活動区域の区分	
☐ 2以上の都道府県の区域等	☒ 同一の都道府県の区域内

資金管理団体の指定の有無
☐ 有
☐ 無
公職の種類 _____
資金管理団体の届出をした者の氏名 _____

国会議員関係政治団体の区分
☒ 政治資金規正法第19条の7第1項 第1号に係る国会議員関係政治団体
☐ 政治資金規正法第19条の7第1項 第2号に係る国会議員関係政治団体
公職の候補者の氏名 <u>新古祐子</u>
公職の種類 <u>衆議院議員（候補者）</u>

資金管理団体の指定の期間
令和 年 月 日から
令和 年 月 日まで

国会議員関係政治団体に関する特例の適用期間
令和 年 月 日から
令和 年 月 日まで

(その2)

収 支 の 状 況

1 収支の総括表

収 入 総 額			十億			百万	3	5	9	千	0	0	0	円
(前 年 か ら の 繰 越 額)						3	5	9	0	0	0	0	0	
(本 年 の 収 入 額)														0
支 出 総 額							5	8	0	0	0	0	0	
翌 年 へ の 繰 越 額						3	0	1	0	0	0	0	0	

2 収入項目別金額の内訳

(1) 個人の負担する党費又は会費														
金 額			十億			百万			千					円
員 数														0
(2) 寄 附														
ア 寄 附 (イ を 除 く 。) の 区 分				金 額									備 考	
(ア) 個 人 か ら の 寄 附						十億			百万			千		円
(うち特定寄附)													0	
(イ) 法 人 そ の 他 の 団 体 か ら の 寄 附													0	
(ウ) 政 治 団 体 か ら の 寄 附													0	
小 計 (ア)+(イ)+(ウ)													0	
(寄附のうち寄附のあっせんによるもの)													0	
イ 政 党 匿 名 寄 附													0	
合 計 (ア+イ)													0	

(その13)

3 支出項目別金額の内訳

(1) 支出の総括表

項 目		金 額										備 考
1 経 常 経 費			十億		百万		千			円		
(1) 人 件 費						5	0	0	0	0	0	
(2) 光 熱 水 費											0	
(3) 備 品 ・ 消 耗 品 費											0	
(4) 事 務 所 費							8	0	0	0	0	
小 計						5	8	0	0	0	0	
2 政 治 活 動 費												
(1) 組 織 活 動 費											0	
(2) 選 挙 関 係 費											0	
(3) 機 関 紙 誌 の 発 行 費											0	
ア 機 関 紙 誌 の 発 行 事 業 費											0	
イ 宣 伝 事 業 費											0	
ウ 政 治 資 金 パーティー開催事業費											0	
エ そ の 他 の 事 業 費											0	
(4) 調 査 研 究 費											0	
(5) 寄 附 ・ 交 付 金											0	
(6) そ の 他 の 経 費											0	
小 計											0	
合 計						5	8	0	0	0	0	

(その14)

(2) 経常経費（人件費を除く。）の内訳										項目別区分 事務所費				
支出の目的	金 額									年 月 日	支出を受けた者の氏名 (団体にあつては、その名称)	支出を受けた者の住所 (団体にあつては、主たる事務所の所在地)	備 考	
事務所費		十億		百万		8	千	0	0	0	R7, 3, 20	BEAT EMOTION	伊丹市野間北6丁目8-26	
この頁の小計						8	千	0	0	0				
その他の支出										0				
合 計						8	千	0	0	0				

(その17)

資 産 等 の 状 況

1 資産等の総括表

資 産 等 の 有 無			
資 産 等 の 項 目 別 区 分	有	無	備 考
ア 土 地	☐	☒	
イ 建 物	☐	☒	
ウ 建物の所有を目的とする地上権又は土地の賃借権	☐	☒	
エ 取 得 の 価 額 が 100 万 円 を 超 え る 動 産	☐	☒	
オ 預金(普通預金及び当座預金を除く。)又は貯金 (普通貯金を除く。)	☐	☒	
カ 金 銭 信 託	☐	☒	
キ 有 価 証 券	☐	☒	
ク 出 資 に よ る 権 利	☐	☒	
ケ 貸付先ごとの残高が100万円を超える貸付金	☐	☒	
コ 支払われた金額が100万円を超える敷金	☐	☒	
サ 取得の価額が100万円を超える施設の利用に関する権利	☐	☒	
シ 借入先ごとの残高が100万円を超える借入金	☐	☒	

宣 誓 書

添 付 書 類 (別添のとおり)

- ① 領収書等の写し
- ② 政治資金監査報告書 (国会議員関係政治団体に限る。)

この報告書は、政治資金規正法に従って作成したものであって、真実に相違ありません。

令和 7 年 10 月 2 日

政治団体の名称

立憲民主党和歌山県第2区総支部

会計責任者の氏名

新古 祐子

(代表者の氏名

新古 祐子)

- (備考) 1 会計責任者本人が提出する場合にあっては本人確認書類の提示又は提出を、その代理人が提出する場合にあっては当該代理人の権限を証する書面及び本人確認書類の提示又は提出を行うこと。ただし、会計責任者本人の署名その他の措置を講ずる場合は、この限りではない。
- 2 政治団体の解散に伴う報告書の場合は、会計責任者の氏名その他、代表者の氏名を記載すること。また、代表者及び会計責任者本人が提出する場合にあっては本人確認書類の提示又は提出を、これらの者の代理人が提出する場合にあっては当該代理人の権限を証する書面及び本人確認書類の提示又は提出を行うこと。ただし、代表者及び会計責任者本人の署名その他の措置を講ずる場合は、この限りではない。

政治資金監査報告書

令和 7 年 10 月 2 日

立憲民主党和歌山県第2区総支部

代表 新古 祐子 殿

登録政治資金監査人 鶴田悦道 

登録番号 第 3201 号

研修修了年月日 平成 21 年 11 月 27 日

1 監査の概要

(1) 私は、政治資金規正法(以下「法」という。)第19条の13第1項の規定に基づき立憲民主党和歌山県第2区総支部の令和 7 年に係る法第17 条第1項に規定する収支報告書のすべての期間を対象として、当該収支報告書並びに当該収支報告書に係る会計帳簿、明細書、領収書等、領収書等を徴し難かった支出の明細書、振込明細書及び振込明細書に係る支出目的書(支出の目的が記載された振込明細書の写しを含む。以下同じ。)について、支出に関する政治資金監査を行った。

(2) この政治資金監査は、法第19条の13第2項に定めるところにより政治資金適正化委員会が定める「政治資金監査に関する具体的な指針」(以下「政治資金監査マニュアル」という。)に基づき行った。

(3) 私の責任は、外部性を有する第三者として、国会議員関係政治団体の会計責任者の作成又は徴取した収支報告書並びに当該収支報告書に係る会計帳簿、明細書、領収書等、領収書等を徴し難かった支出の明細書、振込明細書及び振込明細書に係る支出目的書について、政治資金監査マニュアルに基づき政治資金監査を行った結果を報告することにある。

(4) この政治資金監査は立憲民主党和歌山県第2区総支部の主たる事務所での、事務作業効率がスペース、事務機器の観点から適当ではないと私が判断したため、第三者である当該事務所での作業効率が良いため、鶴田悦道税理士事務所(愛知県岡崎市竜泉寺町字上野中 109-2)において行った。

2 監査の結果

私が実施した政治資金監査の結果は、以下のとおりである。

- (1) 法第19条の13第2項第1号に規定する事項について、会計帳簿、明細書、領収書等、領収書等を徴し難かった支出の明細書、振込明細書及び振込明細書に係る支出目的書が保存されていた。
- (2) 法第19条の13第2項第2号に規定する事項について、会計帳簿には、当該国会議員関係政治団体に係るその年における支出の状況が記載され、かつ、当該国会議員関係政治団体の会計責任者が当該会計帳簿を備えていた。
- (3) 法第19条の13第2項第3号に規定する事項について、法第17条第1項に規定する収支報告書は、会計帳簿、明細書、領収書等、領収書等を徴し難かった支出の明細書、振込明細書及び振込明細書に係る支出目的書に基づいて支出の状況が表示されていた。また、いずれにも該当しない事項として会計責任者への聞き取りにより、次のとおり報告します。

・ 人件費 2 件 合計 50 万円

- (4) 法第19条の13第2項第4号に規定する事項について、領収書等を徴し難かった支出の明細書及び振込明細書に係る支出目的書は、会計帳簿に基づいて記載されていた。

3 業務制限

立憲民主党和歌山県第2区総支部と私との間には、法第19条の13第5項の規定に違反する事実はない。また立憲民主党和歌山県第2区総支部と政治資金監査の業務を補助した使用人その他の従業者との間においても、同様である。

以 上